

五所川原市  
学校教育系施設整備計画

2020年3月策定

2024年3月改訂

五所川原市

教育総務課 管財課 学校給食センター

高等看護学院 商工観光課

<目次>

1	計画の目的	1
2	本計画の位置付け	1
3	計画期間	1
4	対象施設	2
5	学校教育系施設の現状	4
6	これまでの整備状況	5
7	今後の整備方針	5
8	フォローアップの実施	14
	個別票	15

## 1 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

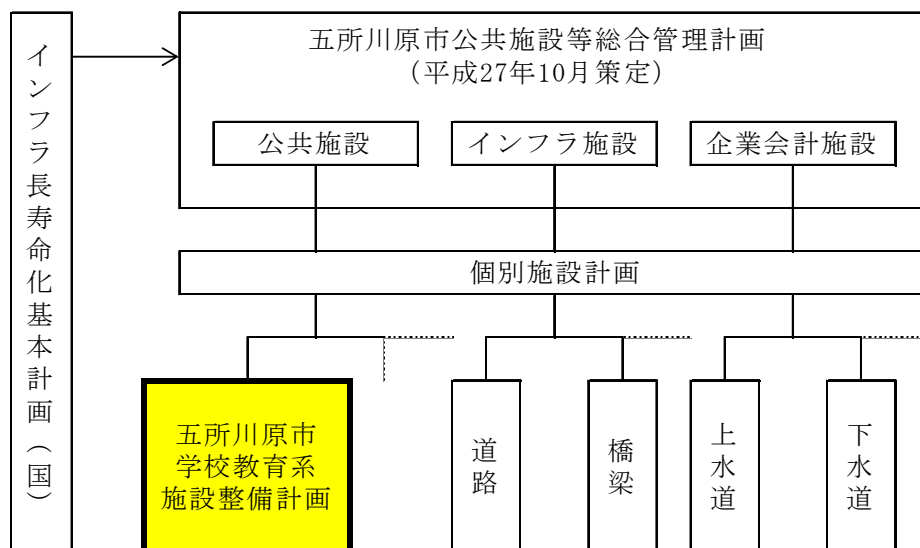
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市学校教育系施設整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

## 2 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



## 3 計画期間

総合管理計画の計画期間は2044年度（令和26年度）までの30年間としていますが、本計画の計画期間は、その第1期分として、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間とします。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

#### 4 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)
1	五所川原小学校校舎	新宮字岡田	6,085.65	1988	87.2
	五所川原小学校体育館		1,537.50	1990	114.7
	五所川原小学校プール付属室		76.00	1990	177.3
	五所川原小学校物置小屋		35.00	1996	97.1
2	南小学校校舎	蓮沼	4,757.60	1990	83.0
	南小学校体育館		1,597.26	1992	108.8
	南小学校プール付属室		64.00	1992	168.2
3	栄小学校校舎	姥菴字船橋	6,354.47	1981	102.1
	栄小学校体育館		1,676.78	1986	126.5
	栄小学校プール付属室		48.00	1980	128.9
	栄小学校物置小屋		62.00	1989	266.7
4	松島小学校校舎	米田字八ツ橋	2,643.17	1996	70.2
	松島小学校体育館		1,420.76	1997	94.1
	松島小学校プール付属室		48.00	1986	195.5
5	中央小学校校舎	松島町二丁目	5,543.21	2013	34.0
	中央小学校体育館		1,393.50	2013	34.0
6	三輪小学校校舎	七ツ館字虫流	3,887.13	2001	59.6
	三輪小学校体育館		1,546.35	2002	57.4
	三輪小学校地域学校連携施設		399.57	2001	103.7
	三輪小学校食堂		288.44	2001	112.0
7	三好小学校校舎	鶴ヶ岡字唐橋	2,337.33	1992	168.2
	三好小学校体育館		1,337.62	1993	76.6
	三好小学校プール付属室・機械室		60.00	1982	213.6
8	東峰小学校校舎	神山字山越	2,548.85	1993	76.6
	東峰小学校体育館		1,381.32	1994	102.9
	東峰小学校プール付属室		63.00	1995	154.5
	東峰小学校物置小屋		13.00	1996	97.1
9	いずみ小学校校舎	飯詰字石田	2,346.19	1994	74.5
	いずみ小学校体育館		1,377.07	1995	72.3
	いずみ小学校食堂		238.78	1995	72.3
10	金木小学校校舎	金木町芦野	5,398.29	1979	106.4
	金木小学校体育館		1,170.45	1980	104.3
	金木小学校第二体育館		359.25	1980	104.3
	金木小学校給食室		191.50	1980	119.5
	金木小学校倉庫		76.00	1980	326.7
11	市浦小学校校舎	相内岩井	1,903.41	1990	83.0
	市浦小学校体育館		898.43	1990	144.4
	市浦小学校給食室・食堂		257.08	1990	195.0
12	五所川原第一中学校校舎	松島町三丁目	8,056.83	2007	46.8
	五所川原第一中学校体育館		2,562.92	2010	40.4

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)
13	五所川原第二中学校校舎 (北棟)	羽野木沢字隈	2,061.39	1995	72.3
	五所川原第二中学校校舎 (南棟)	無	1,200.22	1978	231.8
	五所川原第二中学校体育館		639.09	1978	150.0
	五所川原第二中学校倉庫		60.00	1995	226.7
	五所川原市第二中学校焼却炉室		20.00	1995	100.0
14	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟)	広田字藤浦	794.68	1972	121.3
	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟以外)		3,918.83	1987	89.4
	五所川原第三中学校体育館		1,613.87	1989	85.1
	五所川原第三中学校プール付属室		16.00	1974	161.8
	五所川原第三中学校物置小屋		39.00	1990	260.0
15	五所川原第四中学校校舎	沖飯詰字男鹿	3,572.67	1983	97.9
	五所川原第四中学校体育館		1,491.06	1983	135.3
	五所川原第四中学校プール付属室		15.00	1984	204.5
	五所川原第四中学校物置小屋		33.00	1985	93.6
16	金木中学校校舎	金木町芦野	4,277.62	1986	91.5
	金木中学校体育館		1,449.15	1986	126.5
	金木中学校柔剣道場		350.05	1988	186.4
	金木中学校物置小屋		112.00	1986	195.5
17	市浦中学校校舎	相内岩井	2,809.66	1970	125.5
	市浦中学校体育館		924.10	1971	123.4
	市浦中学校給食室		90.36	1990	195.0
18	学校給食センター	金山字竹崎	4,306.00	2016	41.9
19	高等看護学院	新町	2,554.25	1991	76.0
20	旧金木高等学校市浦分校 【R5 除却】	磯松赤川	1,674.00	1972	121.3
	旧金木高等学校市浦分校プール付属室 【R5 除却】		39.00	1978	150.0
21	旧嘉瀬小学校校舎	金木町嘉瀬端	2,676.00	1972	121.3
	旧嘉瀬小学校体育館	山崎	673.00	1973	164.7
	旧嘉瀬小学校プール付属室		41.00	1974	250.0
	旧嘉瀬小学校物置小屋		13.00	1974	250.0
22	旧東小学校校舎	高野字広野	1,209.00	1970	125.5
	旧東小学校体育館		384.00	1970	125.5
	旧東小学校プール付属室		54.00	1988	186.4
	旧東小学校物置小屋		46.00	1971	263.6
23	旧五所川原第二中学校校舎	豊成字田子ノ	3,050.00	1973	119.1
	旧五所川原第二中学校体育館	浦	825.00	1974	161.8
	旧五所川原第二中学校プール付属室		43.00	1979	227.3
	旧五所川原第二中学校物置小屋		121.00	1975	245.5
合 計			115,237.71		

備考：1 老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値（令和11年4月1日時点）

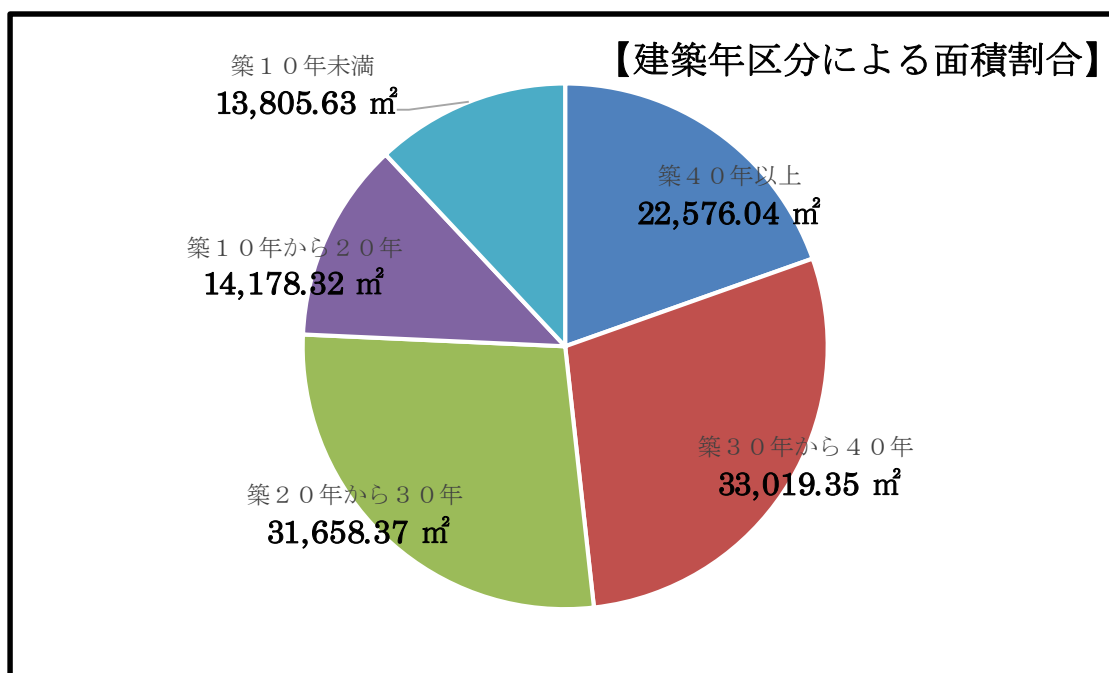
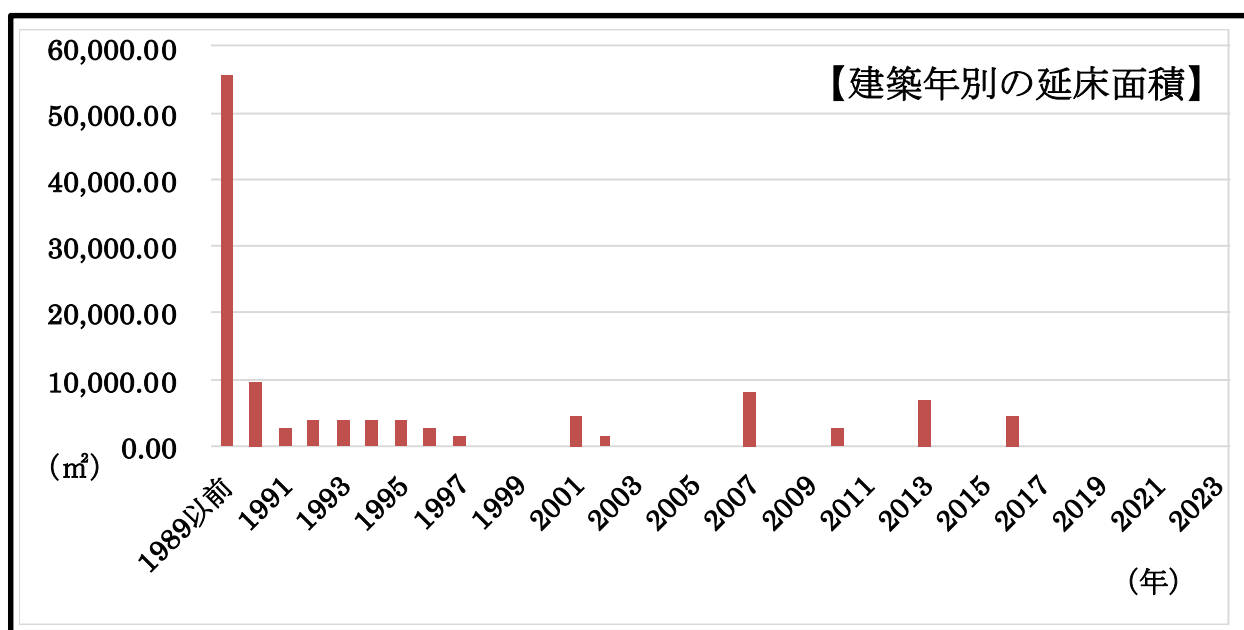
2 除却済である旧金木高等学校市浦分校の面積を除いた場合の延床面積の合計（令和5年度末の延床面積の合計）は、113,524.71㎡となる。

## 5 学校教育系施設の現状

本市の学校教育系施設は23施設です。五所川原地域に17施設、金木地域に3施設、市浦地域に3施設が配置されています。多くが1979年（昭和54年）から1997年（平成9年）にかけて建築されました。総延床面積は115,237.71㎡で建築後の経過年数別で見ると、築40年以上が22,576.04㎡(19.6%)、築30年から40年が33,019.35㎡(28.6%)、築20年から30年が31,658.37㎡(27.5%)、築10年から20年が14,178.32㎡(12.3%)、築10年未満が13,805.63㎡(12.0%)となっています。

これまでの施設の整備は、公立小学校・中学校（以下「小中学校」といいます。）を例に説明すると、築20年から30年を目途に事後保全改修を、築40年を目途に更新を実施してきました。前述のとおり築20年以上経過する施設が75.7%と高い割合を占めており、多くの施設が大規模な改修や更新の時期を迎えています。

このような現状からも、今後、財政状況がより一層の厳しさを増すことが予測されるなか、これまでのような更新中心の整備を継続することは非常に困難です。



## 6 これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(建設事業、大規模な改修事業等)

事業名	中央小学校建設事業
事業年度	2010年度(H22年度)から2014年度(H26年度)
事業内容	旧中央小学校の耐震基準が基準以下のため旧校舎を除却の上新設(現地建替え)
総事業費	2,307,537千円 (財源:国庫854,030千円、地方債1,230,400千円、一般財源223,107千円)

事業名	金木中学校大規模改造事業
事業年度	2013年度(H25年度)から2014年度(H26年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場等について、事後保全改修を実施
総事業費	201,098千円 (財源:国庫59,832千円、地方債138,400千円、一般財源2,866千円)

事業名	学校給食センター建設事業
事業年度	2013年度(H25年度)から2016年度(H28年度)
事業内容	旧学校給食センター建設から44年を経過して経年劣化が著しいため「学校給食衛生管理基準」に基づき新学校給食センターを整備(非現地建替え)
総事業費	3,196,568千円 (財源:国庫214,649千円、地方債2,831,800千円、一般財源150,119千円)

事業名	栄小学校大規模改造事業
事業年度	2014年度(H26年度)から2016年度(H28年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場について、屋根、外壁、機械設備、電気設備等の事後保全改修を実施
総事業費	281,495千円 (財源:国庫87,891千円、地方債189,900千円、一般財源3,704千円)

事業名	金木小学校大規模改造事業
事業年度	2020年度(R2年度)から2022年度(R4年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場について、屋根、外壁、機械設備、電気設備等の事後保全改修及びトイレ改修工事を実施
総事業費	382,146千円 (財源:国庫115,302千円、地方債258,900千円、一般財源7,944千円)

## 7 今後の整備方針

### (1) 適正配置・適正規模の考え方

#### ① 公立小学校・中学校

小中学校は、少子化による児童生徒数の減少や施設の老朽化等を勘案し、これまでも多くの学校で統廃合等を行ってきました。今後も児童生徒数が一層減少することが予測されるなか、限られた財源の中で老朽化が進む施設の適正管理を実施するため、学校規模の適正化及び学校の適正配置について検討しながら、施設の計画的かつ効率的な維持管理を図っていきます。

#### ② 小中学校以外の学校教育系施設

学校給食センターは、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達に資する給食を供給

することはもとより、施設見学の受け入れを実施する等、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う教育的観点からも重要な施設です。五所川原地域から金木地域までの小中学校 15 校へ約 3,440 食の給食を供給しており、当該センターの供給可能食数の 4,500 食に対して供給率は約 76%となっていることから、適正規模であるといえます。

また、2028 年度の児童生徒数（推計）でみた場合も約 2,860 食の供給が見込まれ、供給可能食数に対して約 63%となっており、概ね適正規模であるといえます。

高等看護学院については、保健師助産師看護師法の基準に基づいた西北五圏域唯一の看護師養成施設であり、地域医療を支える人材を育成する教育機関であることから、医療体制を維持する上で必要であるため、施設の計画的かつ効率的な維持管理を図っていきます。

## (2) 優先順位の考え方

### ①公立小学校・中学校

教育委員会が策定した「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」による学校再編事業の検討状況を踏まえつつ、次の 2 点を総合的に評価し、優先順位を決定します。

・建物性能（個別票「2 施設の現況」(1)品質面（建物性能）に記載されている数値）

※評価基準は P 38【建物性能表】のとおり。

・建築基準法第 12 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づく調査及び点検の結果（以下「法定点検」）

### ②小中学校以外の学校教育系施設

「①公立小学校・中学校」で記した建物性能、法定点検の評価基準に加え、児童生徒数や給食供給数等の稼働状況や費用対効果等により総合的に判断します。

また、高等看護学院についても、学生数の状況により総合的に判断いたします。

## (3) ユニバーサルデザイン化の推進

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律」（バリアフリー法）や「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」に基づき、全ての人にやさしいユニバーサル社会を構築するため、高齢者、障害者に留まらず、誰もが利用しやすい公共施設のユニバーサルデザイン化を推進します。今後、更新や改修を行う際は、ニーズを踏まえ、ユニバーサルデザインを考慮し実施していきます。

## (4) 施設の管理方針

### ①公立小学校・中学校

小中学校は、義務教育を実施する極めて重要な施設であるため直営での管理が基本となりますが、施設の整備の一部には、民間企業のノウハウの導入により効率化が図られる場合も考えられます。したがって、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づく P F I の実施等も検討していきます。

### ②小中学校以外の学校教育系施設

学校給食センターは、施設の効率化を目的に、令和 2 年度まで直接管理運営を行っていた調理業務を令和 3 年度からは民間へ委託し実施しています。

また、高等看護学院につきましては、引き続き施設を効率的に管理していきます。

## (5) 整備方針

4 ページ「5 学校教育系施設の現状」に記したとおり、これまでの築 20 年から 30 年を目途に事後保全改修を、築 40 年を目途に更新をそれぞれ実施するという考え方では、全ての施



設の老朽化を解消することは困難です。

(社)日本建築学会発行(昭和63年)「建築物の耐久計画に関する考え方」による目標耐用年数を引用すると、鉄筋コンクリート造(RC造)、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)、鉄骨造(S造)の建物は計画的な保全を実施すれば、RC造、SRC造は約80年、S造は約50年、長持ちさせることができるとされています。

このことから、今後は、築20年から30年を目途に予防保全改修を、築40年を目途にコンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策等建物機能を向上させる長寿命化改修を実施し、その後、建築後約80年で更新を実施する手法に転換します。また、長寿命化改修以外にもこれまで以上に法定検査等による施設躯体や各種設備の状況把握に努め、必要に応じて一部改修を実施していきます。

大規模に改修を実施する際には、トイレ改修や空調設備の整備などの児童生徒の学習環境や施設の防災機能の向上、照明・空調設備の省エネルギー化を図ります。また、分類の違う目的の施設との複合化も検討していきます。

#### ①今後10年の整備方針

本表では計画期間内の整備方針を記載しておりますが、「行動計画」欄、「説明」欄は改定時において、それぞれ次の視点による修正等を加えております。

「行動計画」欄：計画策定時点の視点で改定時状況を反映して記載

「説明」欄：改定時点における実施済及び実施見込み内容も反映し、記載

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
1	五所川原小学校	存続	一部改修及び長寿命化改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕、自家用電気工作物の修繕を実施済。 また、屋根、外壁、内壁、内部床等の改修のほか、給排水、暖房等の設備について長寿命化改修の実施を検討していきます。
2	南小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕、自家用電気工作物の修繕を実施済。
3	栄小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備、自家用電気工作物の修繕を実施済。
4	松島小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備、自家用電気工作物の修繕及び屋上改修を実施済。
5	中央小学校	存続	一部改修	直営	空調設備の整備は実施済。 今後は現在の建物を維持します。

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
6	三輪小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕及び屋上改修を実施済。
7	三好小学校	存続	現状維持	直営	空調設備の整備、危険な遊具の修繕を実施済。
8	東峰小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化及び空調設備の整備を実施済。
9	いずみ小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化、空調設備の整備及び危険な遊具の修繕を実施済。
10	金木小学校	存続	大規模な改修及び一部改修	直営	屋根、外壁、内壁、内部床等の改修のほか、給排水、暖房等の設備、和式トイレの洋式化について大規模な改修を実施済。 また、空調設備の整備、危険な遊具の撤去・更新についても実施済。
11	市浦小学校	存続	一部改修、長寿命化改修（予防保全改修）ほか大規模な模改修	直営	空調設備の整備、危険な遊具の撤去及び自家用電気工作物の修繕を実施済。 また、小学校、中学校の併置校舎として使用するため、屋根、外壁等の予防保全のための長寿命化改修、トイレの改修等の大規模な改修を実施します。
12	五所川原第一中学校	存続	一部改修	直営	空調設備の整備は実施済。今後は現在の建物を維持します。
13	五所川原第二中学校	存続	一部改修	直営	空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済。
14	五所川原第三中学校	存続	一部改修及び長寿命化改修	直営	空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済。 また、屋根、外壁、内壁、内部床等の改修の他、給排水、暖房等の設備について長寿命化改修の実施を検討していきます。

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
15	五所川原第四中学校	存続	一部改修	直営	空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済。
16	金木中学校	存続	一部改修	直営	空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済。
17	市浦中学校	存続	現状維持	直営	空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済。
18	学校給食センター	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
19	高等看護学院	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
20	旧金木高等学校市浦分校	廃止	除却	—	除却済
21	旧嘉瀬小学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
22	旧東小学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
23	旧五所川原第二中学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。

【施設の方向性等の説明】

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持（小破修繕を含む。）
	事後保全改修	建物機能の現状回復を目的とした改修
	予防保全改修	将来的な長寿命化に向け、建物機能を健全に保つための改修
	長寿命化改修	建物機能を向上させ、より長期的に施設の活用を図る改修
	一部改修	施設躯体や設備などの一部を改修
	複合機能化	分類の違う目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と共用
	更新	老朽化等のため建物を更新（非現地建替えを含む。）
廃止	転用	施設機能を廃止し他の用途へ転用
	民間委譲	民間事業者等へ譲渡（売却を含む。）
	除却	施設を解体撤去、又は解体時期を検討

【施設の管理方法の説明】

管理方法	説明	
直営	市の直営 （個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。）	
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール（実施済事業を含む。）

No.	施設名称	今後のスケジュール（実施済事業を含む。）										
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
1	五所川原小学校	遊具 トイレ 電気			遊具			長寿命化改修の検討				
		空調										
2	南小学校	遊具 電気		トイレ								
		空調										
3	栄小学校	電気	トイレ									
		空調										
4	松島小学校	電気	遊具 トイレ	屋上								
		空調										
5	中央小学校	空調										
6	三輪小学校	空調		遊具	トイレ 屋上							
7	三好小学校		遊具									
		空調										
8	東峰小学校	空調		トイレ								
9	いずみ小学校	遊具 トイレ										
		空調										
10	金木小学校	大規模改造 (トイレ改修含む。)		遊具								
		空調										
11	市浦小学校	電気			遊具	長寿命化改修 (予防保全改修)						
		空調										
12	五所川原第一中学校	空調										
13	五所川原第二中学校	電気										
		空調										
14	五所川原第三中学校	電気					長寿命化改修の検討					
		空調										
15	五所川原第四中学校	電気										
		空調										
16	金木中学校	電気										
		空調										
17	市浦中学校	電気										
		空調										
20	旧金木高等学校市浦分校		除却									

備考： 2022年度までは実施済事業、2023年度は実施見込み予定事業、2024年度以降が実施予定事業となっている。

③改修等の事業費及び財源（実施済事業を含む。）

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
1	五所川原小学校	2020	18,704	○トイレ改修 設計監理(3,214) 改修工事(14,515)	国庫(3,626) 地方債(14,000) 一般財源(103)
				○遊具修繕(649) ○電気工作物修繕(226)	一般財源(875)
		2020 2021	44,943	○空調設備設置 実施設計(1,037) 工事監理(561) 空調設備工事(43,345)	国庫(44,856) 一般財源(87)
		2023	404	○遊具修繕(404)	一般財源(404)
2	南小学校	2020	872	○遊具修繕(649) ○電気工作物修繕(223)	一般財源(872)
		2020 2021	55,051	○空調設備設置 実施設計(1,273) 工事監理(688) 空調設備工事(53,090)	国庫(54,944) 一般財源(107)
		2022	31,602	○トイレ改修 設計監理(3,112) 改修工事(28,490)	国庫(9,525) 地方債(22,000) 一般財源(77)
3	栄小学校	2020	2,145	電気工作物(2,145)	一般財源(2,145)
		2020 2021	47,160	○空調設備設置 実施設計(1,365) 工事監理(639) 空調設備工事(45,156)	国庫(47,160)
		2021	38,895	○トイレ改修 設計監理(3,581) 改修工事(35,314)	国庫(4,891) 地方債(33,700) 一般財源(304)
4	松島小学校	2020	782	○電気工作物修繕(782)	一般財源(782)
		2020 2021	32,268	○空調設備設置 実施設計(818) 工事監理(403) 空調設備工事(31,048)	国庫(32,268)
		2021	6,084	○トイレ改修 設計監理(559) トイレ改修(5,525)	国庫(763) 地方債(5,100) 一般財源(221)
			970	○遊具修繕(970)	一般財源(970)
		2022	30,120	○屋上改修事業 実施設計(495) 工事監理(495) 改修工事(29,130)	地方債(30,100) 一般財源(20)

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
5	中央小学校	2020 2021	47,919	○空調設備設置 実施設計(1,217) 工事監理(599) 空調設備工事(46,103)	国庫(47,919)
6	三輪小学校	2020 2021	34,533	○空調設備設置 実施設計(1,000) 工事監理(469) 空調設備工事(33,064)	国庫(34,533)
		2022	226	○遊具修繕(226)	一般財源(226)
		2023	27,267	○トイレ改修 設計監理(3,067) トイレ改修(24,200)	国庫(6,855) 地方債(20,400) 一般財源(12)
				○屋上防水改修 設計監理(2,288) 改修工事(69,432)	地方債(71,700) 一般財源(20)
7	三好小学校	2020 2021	18,396	○空調設備設置 実施設計(816) 工事監理(220) 空調設備工事(17,360)	国庫(18,396)
		2021	356	○遊具修繕(356)	一般財源(356)
8	東峰小学校	2020 2021	23,217	○空調設備設置 実施設計(1,029) 工事監理(278) 空調設備工事(21,910)	国庫(23,217)
		2022	13,872	○トイレ改修 設計監理(1,365) 改修工事(12,507)	国庫(4,179) 地方債(9,600) 一般財源(93)
9	いずみ小学校	2020	5,724	○トイレ改修 設計監理(1,037) 改修工事(4,687)	国庫(1,170) 地方債(4,400) 一般財源(154)
				504	○遊具修繕(504)
		2020 2021	29,081	○空調設備設置 実施設計(1,290) 工事監理(348) 空調設備工事(27,443)	国庫(29,081)
10	金木小学校	2020 2021	43,037	○空調設備設置 実施設計(1,585) 工事監理(647) 空調設備工事(40,805)	国庫(34,868) 一般財源(8,169)

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
10	金木小学校	2020	382,145	○大規模改造 実施設計(5,720) 工事監理(7,898) 設計意図伝達(216) 大規模改造(366,200)	国庫(115,302) 地方債 (258,900) 一般財源(7,944)
		2021			
2022					
		2023	987	○遊具更新(987)	一般財源(987)
11	市浦小学校	2020	939	○電気工作物修繕(939)	一般財源(939)
		2020	18,172	○空調設備設置 実施設計(670) 工事監理(273) 空調設備工事(17,229)	国庫(14,723) 一般財源(3,449)
		2021			
		2023	187	○遊具撤去(187)	一般財源(187)
2024	198,153	○長寿命化改良 実施設計(5,035) アスベスト調査(3,953) 工事監理(6,895) トイレ改修(13,500) 大規模改造(168,770)	国庫(33,500) 地方債 (164,600) 一般財源(53)		
2025					
12	五所川原 第一中学校	2020	58,288	○空調設備設置 実施設計(1,581) 工事監理(1,396) 空調設備工事(55,311)	国庫(58,288)
		2021			
13	五所川原 第二中学校	2020	748	○電気工作物修繕(748)	一般財源(748)
		2020	14,717	○空調設備設置 実施設計(558) 工事監理(233) 空調設備工事(13,926)	国庫(14,717)
2021					
14	五所川原 第三中学校	2020	910	○電気工作物修繕(910)	一般財源(910)
		2020	41,843	○空調設備設置 実施設計(1,588) 工事監理(664) 空調設備工事(39,591)	国庫(41,843)
2021					
15	五所川原 第四中学校	2020	827	○電気工作物修繕(827)	一般財源(827)
		2020	16,765	○空調設備設置 実施設計(454) 工事監理(401) 空調設備工事(15,910)	国庫(16,765)
2021					
16	金木中学校	2020	880	○電気工作物修繕(880)	一般財源(880)
		2020	33,655	○空調設備設置 実施設計(1,428) 工事監理(561) 空調設備工事(31,666)	国庫(33,655)
2021					

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
17	市浦中学校	2020	389	○電気工作物修繕(389)	一般財源(389)
		2020 2021	16,862	○空調設備設置 実施設計(716) 工事監理(281) 空調設備工事(15,864)	国庫(16,862)
20	旧金木高等学校市浦分校	2021	3,278	解体設計(3,278)	地方債(3,200) 一般財源(78)
		2022	38,415	解体工事(36,468) アスベスト調査 (1,947)	地方債(38,400) 一般財源(15)
		2023	73,302	解体工事(70,827) 解体工事監理 (2,475)	地方債(73,300) 一般財源(2)

備考： 2022年度までは実施済事業、2023年度は実施見込み予定事業、2024年度以降が実施予定事業となっている。

#### ④10年後(2029年度)の施設状況比較

総延床面積(m <sup>2</sup> )		維持管理コスト(千円)	
現在	2029年度	現在※	2029年度
115,237.71	113,524.71	460,447	593,232

※2015年度から2017年度までの3か年平均

※学校給食センターについては、2017年度より新センターが本格稼働したため、2017年度を維持管理コストとしました。

## 8 フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル(Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善))に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。



## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原小学校	総延床面積 (㎡)	7,734.16
所在地	五所川原市大字新宮字岡田 161 番地	代表建築年 (年)	1988
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	4	62
体育館	20	16	8	4	2	50
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	24	8	4	2	56

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
304	275	287	191

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
10,093	9,942	10,814	12,421

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
7	7	7	7

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修及び 長寿命化改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 電気設備等の一部改修のほか、屋根、外壁、設備等の劣化状況を見据えた長寿命化改修の検討が必要になっています。					
【基本的な方針の考え方】 「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、近隣小学校の統合先 (受け入れ先) 学校としての検討校とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	南小学校	総延床面積 (㎡)	6,746.97
所在地	五所川原市字蓮沼 2 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	4	62
体育館	20	16	8	4	2	50
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
213	209	198	166

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
6,425	6,299	7,634	8,769

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
15	15	15	15

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 大規模な改修には至りませんが、外壁、設備等の経年劣化により一部改修が必要になっています。					
【基本的な方針の考え方】 当分の間は「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、今後の児童数の減少見込み等を考慮し、将来的には近隣小学校との再編検討校とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	栄小学校	総延床面積 (㎡)	8,141.26
所在地	五所川原市大字姥菟字船橋 156 番地 2	代表建築年 (年)	1981
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	4	66
体育館	20	8	10	16	2	56
プール付属室	4	8	8	4	2	26
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
397	384	374	305

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
9,532	8,676	12,044	13,835

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
6	6	6	6

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 2015 年度、2016 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、設備等未実施部分の一部改修が必要になっています。					
【基本的な方針の考え方】 「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、近隣小学校の統合先 (受け入れ先) 学校としての検討校とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	松島小学校	総延床面積 (㎡)	4,111.79
所在地	五所川原市大字米田字八ツ橋 8 番地	代表建築年 (年)	1996
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	16	8	4	4	52
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
105	93	99	214

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
4,087	4,707	5,553	6,378

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
19	19	19	19

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 大規模な改修には至りませんが、改修未実施部分の屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b> 当分の間は「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、今後の児童数の減少見込み等を考慮し、将来的には近隣小学校との再編検討校とします。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	中央小学校	総延床面積 (㎡)	6,937.02
所在地	五所川原市松島町二丁目 94 番地	代表建築年 (年)	2013
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	40	10	20	10	100
体育館	20	40	10	20	10	100

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
326	367	382	208

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
7,024	8,272	12,777	14,677

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
13	13	13	13

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建築年次は比較的新しく、学校生活において大きな支障がない状態であるものの、屋根等の予防保全改修を実施すべき時期になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、近隣小学校の統合先 (受け入れ先) 学校としての検討校とします。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	三輪小学校	総延床面積 (㎡)	6,111.55
所在地	五所川原市大字七ツ館字虫流 6 番地 5	代表建築年 (年)	2001
構成施設	校舎、体育館、地域学校連携施設、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	4	6	72
体育館	20	32	10	4	2	68
地域学校連携施設	20	16	8	4	2	50
食堂	20	16	6	4	2	48

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
211	218	212	125

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
14,413	15,155	17,621	20,241

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 建築年次は比較的新しく、学校生活において大きな支障がない状態であるものの、屋根等の予防保全改修を実施すべき時期になっています。					
【基本的な方針の考え方】 当分の間は「適正規模・適正配置の基準」を満たすため学校再編の対象外校となりますが、今後の児童数の減少見込み等を考慮し、将来的には近隣小学校との再編検討校とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	三好小学校	総延床面積 (㎡)	3,703.05
所在地	五所川原市大字鶴ヶ岡字唐橋 25 番地 2	代表建築年 (年)	1992
構成施設	校舎、体育館、プール付属室・機械室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	8	6	4	4	42
体育館	20	16	8	4	4	52
プール付属室・機械室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
40	34	33	25

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
9,603	11,043	11,979	13,760

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
14	14	19	19

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 大規模な改修には至りませんが、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断されることから、近隣小学校となる五所川原小学校との学校再編を検討することとし、方向性が確定するまでの間、行動計画は「現状維持」とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	東峰小学校	総延床面積 (㎡)	4,008.34
所在地	五所川原市大字神山字山越 1 番地 26	代表建築年 (年)	1993
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	6	64
体育館	20	16	8	4	4	52
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	16	8	4	2	50

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
114	100	94	59

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
30,744	29,252	29,490	33,875

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 大規模な改修には至りませんが、屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。					
【基本的な方針の考え方】 現在は「適正規模・適正配置の基準」を満たしているものの今後の児童数及び学級数の減少を見込み、近隣小学校との学校再編検討校とします。					



所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	いずみ小学校	総延床面積 (㎡)	3,965.03
所在地	五所川原市大字飯詰字石田 184 番地	代表建築年 (年)	1994
構成施設	校舎、体育館、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	24	10	4	2	60
食堂	20	24	10	4	2	60

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
132	130	131	130

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
30,364	31,769	32,244	37,038

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
17	25	40	40

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 大規模な改修には至りませんが、屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。					
【基本的な方針の考え方】 現在は「適正規模・適正配置の基準」を満たしているものの今後の児童数及び学級数の減少を見込み、近隣小学校との学校再編検討校とします。					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	金木小学校	総延床面積 (㎡)	7,196.51
所在地	五所川原市金木町芦野 84 番地 54	代表建築年 (年)	1979
構成施設	校舎、体育館、第二体育館、給食室、倉庫		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	16	10	16	4	62
体育館	16	16	10	16	6	64
第二体育館	16	16	10	16	2	60
給食室	16	8	10	16	2	52
倉庫	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
245	224	222	110

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
31,157	31,292	35,163	40,391

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
43	43	43	43

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2020 年度から 2022 年度にかけて校舎及び体育館の大規模な改修工事を実施したため、学校生活において大きな支障はない状態です。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>現在「適正規模・適正配置の基準」を満たしており、今後の児童数及び学級数の減少は見込まれるものの、金木地区で唯一の小学校であることから、現時点では、学校再編の対象外校とします。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	市浦小学校	総延床面積 (㎡)	3,058.87
所在地	五所川原市相内岩井 85 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、給食室・食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	6	4	2	56
体育館	20	8	6	4	2	40
給食室・食堂	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
59	52	46	52

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
14,688	15,722	18,219	20,928

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修、長寿命化改修 (予防保全改修) ほか大規模な改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>屋根、外壁、設備等の経年劣化により改修が必要になっていることから、市浦小学校、市浦中学校の併置校の校舎として使用する場合には、長寿命化を見据えた屋根、外壁等の予防保全のための長寿命化改修のほか、トイレ改修等の大規模な改修が必要となっています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断されることから学校再編検討校となりますが、市浦地区で唯一の小学校であることから、中学校との併置校とし、小学校校舎を併置校舎として検討します。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第一中学校	総延床面積 (㎡)	10,619.75
所在地	五所川原市松島町三丁目1番地	代表建築年 (年)	2007
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	20	10	92
体育館	20	32	8	20	6	86

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
536	535	514	484

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
26,016	30,687	39,503	45,376

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
58	58	58	58

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>大規模な改修には至りませんが、設備等の経年劣化により、一部改修を実施すべき時期になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「適正規模・適正配置の基準」を満たすため、学校再編の対象外校となりますが、近隣中学校の統合先 (受け入れ先) 学校としての検討校とします。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第二中学校	総延床面積 (㎡)	3,982.70
所在地	五所川原市大字羽野木沢字隈無 179 番地 2	代表建築年 (年)	1995
構成施設	校舎 (北棟)、校舎 (南棟)、体育館、倉庫、焼却炉室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (北棟)	20	24	10	4	2	60
校舎 (南棟)	4	8	6	4	2	24
体育館	16	8	6	4	2	36
倉庫	20	8	6	4	2	40
焼却炉室	20	16	10	4	2	52

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
57	57	61	38

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
22,007	22,543	24,151	27,742

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
12	12	12	12

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 大規模な改修には至りませんが、屋根、外壁、設備等の経年劣化により一部改修が必要になって います。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断されることから、近隣中学校との学校再編 検討校とします。					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第三中学校	総延床面積 (㎡)	6,436.10
所在地	五所川原市大字広田字藤浦 105 番地 1	代表建築年 (年)	1987
構成施設	校舎 (特別教室棟)、校舎 (特別教室棟以外)、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (特別教室棟)	16	8	10	4	2	40
校舎 (特別教室棟以外)	20	16	10	4	2	52
体育館	20	24	10	4	2	60
プール付属室	16	8	8	4	2	38
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
306	286	278	270

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
7,075	8,201	12,342	14,177

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
9	26	64	64

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修及び 長寿命化改修	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 電気設備等の一部改修のほか、屋根、外壁、設備等の劣化状況を見据えた長寿命化改修の検討が必要になっています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 「適正規模・適正配置の基準」を満たすため、学校再編の対象外校となりますが、近隣中学校の統合先 (受け入れ先) 学校としての検討校とします。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第四中学校	総延床面積 (㎡)	5,111.74
所在地	五所川原市大字沖飯詰字男鹿 274 番地 1	代表建築年 (年)	1983
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	2	64
体育館	20	8	8	16	2	54
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	16	8	4	2	50

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
64	59	63	72

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
16,678	16,589	17,473	20,071

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
10	28	50	50

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 2012 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、設備等未実施部分の一部改修が必要になっています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b> 「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断されることから、近隣中学校との学校再編検討校とします。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	金木中学校	総延床面積 (㎡)	6,242.36
所在地	五所川原市金木町芦野 84 番地 9	代表建築年 (年)	1986
構成施設	校舎、体育館、柔剣道場、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	2	64
体育館	20	8	8	16	2	54
柔剣道場	20	8	6	16	2	52
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
132	139	125	91

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
20,329	20,496	22,043	25,320

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
31	31	31	31

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 2014 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、鳥害により屋根等の一部改修が必要になっています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b> 「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断され、今後の児童数及び学級数の減少も見込まれるものの、金木地区で唯一の中学校であることから、現時点では、学校再編の対象外校とします。</p>					



所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	市浦中学校	総延床面積 (㎡)	3,824.16
所在地	五所川原市相内岩井 81 番地	代表建築年 (年)	1970
構成施設	校舎、体育館、給食室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	8	8	16	2	50
体育館	16	8	10	16	2	52
給食室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
35	37	33	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
13,160	12,123	13,259	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
12	12	12	12

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2011 年度、2012 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、内装等未実施部分の一部改修が必要となっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「適正規模・適正配置の基準」に達していないと判断されることから学校再編検討校となりますが、市浦地区で唯一の中学校であることから、小学校との併置校とし、併置校舎については市浦小学校を検討することから、行動計画は「現状維持」とします。</p>					

所管課	学校給食センター
-----	----------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	学校給食センター	総延床面積 (㎡)	4,306.00
所在地	五所川原市大字金山字竹崎 203 番地 1	代表建築年 (年)	2016
構成施設	調理室・事務室・会議室・休憩室・対応食調理室		
施設の目的	成長期にある児童生徒に、安心安全で栄養バランスのとれた食事を提供する。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
調理室・事務室・会議室・休憩室・対応食調理室	20	40	8	20	10	98

(2) 供給面 (1 日あたりの給食提供数) (単位: 食)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
3,520	3,455	3,370	2,606

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
127,249	210,627	218,674	220,000

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
53	35	41	55

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建築後 8 年が経過し、ボイラー設備、空調設備、水回り周辺の付帯設備等の修繕が頻繁にみられるようになってきたことから、適切な維持管理が必要となっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>安心安全な学校給食を提供するため、関係法令等を遵守し、施設の維持管理に努める必要があります。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	高等看護学院	総延床面積 (㎡)	2,554.25
所在地	五所川原市字新町 58 番地 2	代表建築年 (年)	1991
構成施設	高等看護学院		
施設の目的	保健師助産師看護師法第 21 条第 2 項に規定する看護師の養成機関として、必要な基礎的知識及び技術を習得させ、社会に貢献する人材を養成することを目的とする。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
高等看護学院	20	24	10	4	6	64

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 4 月 1 日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
56	53	47	50

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
17,182	16,563	18,219	18,233

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020 年度	2021 年度	2022 年度	2029 年度
6,143	5,635	4,895	5,661

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            西北五圏域においては、唯一の看護学校として重要な位置付けとなっています。            耐用年数には至らないものの、築後 30 年以上経過しているため、設備関係 (特に冷暖房・空調) では、部分的に毎年修繕を行なっている状況です。いずれは設備の大規模修繕が必要です。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            長期的に継続して利用する高等看護学院の建物については、劣化が進行する前に点検、診断等を行い、老朽化を最小限度に留める維持管理を図り、ランニングコストを縮減していきます。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	旧金木高等学校市浦分校	総延床面積 (㎡)	1,713.00
所在地	五所川原市磯松赤川3番地42	代表建築年 (年)	1972
構成施設	旧校舎、旧プール付属室		
施設の目的	廃校となった高等学校		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧プール付属室	4	8	8	4	2	26

(2) 供給面 (生徒数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	—

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	—

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	—

## 3 基本的な方針

方向性	廃止	行動計画	除却	管理方法	—
【施設の状況及び課題】 2023年度除却済					
【基本的な方針の考え方】 2023年度除却済					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	旧嘉瀬小学校	総延床面積 (㎡)	3,403.00
所在地	五所川原市金木町嘉瀬端山崎269番地	代表建築年 (年)	1972
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった小学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	16	8	10	4	2	40
旧体育館	16	8	8	4	2	38
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用団体数: 各年度4月1日現在) (単位: 団体)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
13	13	13	13

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 2014年度末で廃校となったものの、旧校舎教室を書類等の保管場所、備品等の倉庫として活用しています。					
【基本的な方針の考え方】 当面は引き続き書庫・倉庫として活用していきますが、書類等が全て廃棄又は他施設へ移管された後、施設売却等、様々な可能性について検討します。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	旧東小学校	総延床面積 (㎡)	1,693.00
所在地	五所川原市大字高野字広野228番地2	代表建築年 (年)	1970
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった小学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧体育館	4	8	8	4	2	26
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用数: 各年度4月1日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
9	9	9	9

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2009年度末で廃校となっており、書類等の保管場所として教育委員会から総務部総務課へ貸出し、施設管理は同課が行い、書庫、備品倉庫として活用しています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 保管している書類等の保存年限が終了し、書類等が全て廃棄又は他施設へ移管された後、施設売却等、様々な可能性について検討します。					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	旧五所川原第二中学校	総延床面積 (㎡)	4,039.00
所在地	五所川原市大字豊成字田子ノ浦70番地1	代表建築年 (年)	1973
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった中学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧体育館	4	8	10	4	2	28
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用数: 各年度4月1日現在) (単位: 人)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績			将来推計
2020年度	2021年度	2022年度	2029年度
28	28	28	28

## 3 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2011年8月で廃校になりましたが、校舎棟では書類や備品等の倉庫として活用しています。2021年度からは体育館のみ商工観光課に所管替しています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 当面は引き続き、書庫・倉庫として活用していきませんが、書類等が全て廃棄又は他施設へ移管された後、施設売却等、様々な可能性について検討します。					

【建物性能表】

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とします。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が昭和56年前）	×4
②老朽化状況	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後10年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2